

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		かかりつけ医機能推進				整理番号	449		枝番号		
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	459	
係名		健康推進係			上位施策名				No		
予算事業名		保健事業の推進		コード	41400	地域医療体制の整備				39	
事務事業の概要	事業開始年度		○昭和 ●平成		8年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
	事業の種類		<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
	対象		<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区かかりつけ医機能推進授業実施要綱 (2) (3)						
	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)		事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)								
	医師会に委託して、区民一人ひとりにかかりつけ医を持つことの必要性を啓発し、区民からのかかりつけ医紹介等の相談に応じる。また、区からもかかりつけ医の必要性を啓発していく。		区民が、日常的な健康管理を安心して行うことができ、身近な地域で適切な医療を受けられる。								
活動指標名(式)		成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標									
(1) 相談受付件数		(1) (代)相談受付件数									
(2)		(2) かかりつけ医をもつ人の割合(成人)									
区分		単位	14年度実績		15年度実績		16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%
指標	活動指標(1)		件	30	97	100	129	100	100	129.0	
	活動指標(2)										
	成果指標(1)		件	30	97	100	129	100	100	129.0	
	成果指標(2)		%	58	57.1	60	58.5	60	60	97.5	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	2,044	1,429	2,402	1,467	1,493	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など)		
	(内)委託費		千円	808	808	808	808	808			
	職員数(常勤   非常勤)		人	0.20	0.10	0.12	0.11	0.05			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	1,817	899	1,092	1,001	455			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	3,861	2,328	3,494	2,468	1,948			
	単位あたりコスト ÷		円	128,700	24,000	34,940	19,132	19,480			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	366	339	344	212			0
		特定財源計 +		千円	366	339	344	212			0
差引:一般財源 -		千円	3,495	1,989	3,150	2,256	1,948				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	129.0	活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%	61.1	周知用案内カードやリーフレットを他の事業と共同で作製し、経費削減を行った。			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		15年度より健診のお知らせ等の空きスペースを有効活用し、「かかりつけ医をもちましよう」という言葉を入れ、啓発を行っている。17年度も、引き続き区民健診受診票の送付に同封するお知らせを中心に「健診は、かかりつけ医を見つけるよい機会」だということをPRしている。数年間の周知で相談件数も増加しているが、「かかりつけ」をもつ意味が十分浸透している状況ではないため今後も啓発を行う。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成12年度からは、介護保険制度も始まり、要介護認定の際に、かかりつけ医の意見書が必要とされるなど、かかりつけ医の必要性はますます高まっている。また、17年1月より杉並区急病医療情報センターが開設され、結果的には医療機関の情報提供の一部は、急病医療情報センターで行っていると思われる。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	高齢者については、かかりつけ医を持つ区民の割合が比較的増加してきたが、成人・小児については、まだかかりつけ医を必要としている。
	今後の予測	生活習慣病の改善及び予防の観点から、かかりつけ医による日常の健康管理の必要性はますます高まっていく。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 中(理由 )	理由： かかりつけ医の定着は、地域医療体制を整備していく上で重要である。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容：  理由または具体的内容： 現行事業の委託内容を検討し、よりきめの細かい相談ができるようにする。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容： 事業の性格上受益者負担はなじまない。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある[その他](具体的内容 )	理由または具体的内容： 引き続き「かかりつけ医の必要性」をPRし、利用者増を図る。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	理由または具体的内容： 区民からの医療機関問い合わせ等についてかかりつけ医の紹介を行なう。 かかりつけ医師の技術等向上を図るため講習会等を開催する。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 委託[業務量の50%以上に相当](具体的内容 )	協働等： <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 地域医師会が実施しているため、よりきめの細かい情報を提供できると考えるため、医師会及び区内医療機関の協力を得て推進する。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト：</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 平成9年度より「かかりつけ医機能推進事業」を杉並区医師会に委託し実施しており、今後も地域医療体制の中での役割としての必要性は高い。しかしながら、この事業を地域医師会が実施しているからこそ「きめこまやかな情報の蓄積を活用する」など、実現できることもあると思われるので、急病医療情報センターのとの役割等を踏まえて、より効果的な委託内容について検討したい。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 かかりつけ医がその他の医療機関との連携を図るためには、医師会が中心となり、区や地域医療機関との連携を強化していくことが必要である。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区民のかかりつけ医に対する基礎知識を啓発する。 本事業の内容を精査し杉並区医師会との調整を行い事業の見直しに向け検討を行う。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		休日等・夜間急病診療の運営			整理番号	451		枝番号			
担当部課名		杉並保健所健康推進課			コード	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	461~3		
係名				救急医療係		上位施策名			No		
予算事業名				休日等急病診療		コード	45950		地域医療体制の整備		
						<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input checked="" type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業					
事務事業の概要	事業開始年度				<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成		15年度				
	事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
	対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区休日夜間等急病診療事業実施要綱 (2) 杉並区歯科休日急病診療事業実施要綱 (3) 杉並区調剤待機事業実施要綱				
	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				1. 杉並保健所内診療所及び輪番医にて、一般医療機関が休診する時間帯における急病患者に対し、初期救急診療を杉並区医師会及び杉並区歯科医師会に委託し実施している。 2. 休日等夜間急病診療及び歯科休日急病診療に対する調剤業務の待機事業を、杉並区薬剤師会に委託し、実施している。						
活動指標名(式)				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか） 区民が医療機関の開いていない時間帯に急病になっても、医療が受けられる体制を確立し、区民の安心した生活を実現する。							
成果指標名(式)				(代) = 適当な指標がない場合の代替指標 (1) (代) 休日等夜間急病診療所一日利用者数 (2)							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		人	16,917	16,956	16,641	17,725	16,000	16,000	110.8	
	活動指標(2)		日	1,418	1,420	1,420	1,420	1,419			
	成果指標(1)		人	12	12	12	12	11			
	成果指標(2)		日								
総事業費・コスト把握	事業費		千円	189,081	188,309	186,841	183,824	175,616	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 組織改正により担当係(救急医療係)新設。 H17年度に評価表新規作成。医科、歯科、薬局を一つにまとめた。		
	(内)委託費		千円	187,911	187,095	185,488	182,752	174,311			
	職員数(常勤 非常勤)		人	0.95	0.78	0.70	0.54	0.40			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	8,629	7,015	6,370	4,914	3,640			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	197,710	195,324	193,211	188,738	179,256			
	単位あたりコスト ÷		円	11,687	11,519	11,611	10,648	11,204			
	財源	受益者負担分		千円							
		国・都等からの支出金		千円	7,803	7,803	7,803	4,410			3,675
		特定財源計 +		千円	7,803	7,803	7,803	4,410			3,675
差引:一般財源 -		千円	189,907	187,521	185,408	184,328	175,581				
受益者負担比率 ÷		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%	106.5	活動指標(2)の16年度達成率%	100.0	16年度予算執行率%	98.4				
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		小児診療に関しては、平成16年10月から区内病院に月～金の準夜診療を委託した。平成17年3月テレホンサービス事業を廃止した。平成17年1月から急病医療情報センターの運営を開始した。									

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平日準夜の小児科診療は12年度から事業を休止していたが、14年度から再開した。平成16年10月から東京衛生病院に平日準夜の小児初期救急を委託した。平成17年1月からダイヤル・サービス(株)に委託し、24時間365日対応の運営を開始した。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	急病診療所の小児科医師の対応への不満が寄せられている。情報センターの医療機関案内の不便に対する不満が寄せられている。
	今後の予測	情報センターとの連携の必要性がある。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 初期救急患者が身近な場所で診療を受けられることは、安心の地域医療を提供している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 情報センターとの強い連携により、より適切な受入医療機関を選定することで、的確な医療へ結び付けられる。区、受託業者、区医師会との意見交換等の場を設け、連携を強化す
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 利用者は保険診療の自己負担分を払っている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [その他] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 医師会が自らコスト削減の検証を行う。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 協働[委託] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 杉並区医師会、杉並区歯科医師会、杉並区薬剤師会に委託している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 医師会自らのコスト削減の事業見直し。 小児初期救急の休日準夜の委託枠拡大を行い、急病診療所の小児科枠を削減する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 医師会の姿勢として、現行事業の減は認められにくい。 医師会自らが経営感覚や患者優先の考えを浸透させていく必要がある。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 現行の事業と変更なし。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		歯科保健医療センターの運営				整理番号	454	枝番号			
担当部課名		杉並保健所 健康推進課		コード		連絡先 電話番号		昨年度 整理番号			
係名 救急医療係					上位施策名			No			
予算事業名 歯科保健医療センター運営					コード	47104	地域医療体制の整備				
事業開始年度 ○昭和 ●平成 13年度					<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業						
事業の種類 <input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 内部管理					根拠法令等						
対象 <input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 在宅要介護状態や障害等などの理由でかかりつけ歯科医を持たない区民。同様に一般の歯科診療所での診療が困難な区民。					(1) 杉並区立歯科保健医療センター条例 (2) 杉並区立歯科保健医療センター条例施行規則 (3) 杉並区立歯科保健医療センター運営要綱						
事務事業の概要	活動内容（事務事業の内容、やり方、手順）				事業の目標（対象をどのような状態にしたいのか）						
	○かかりつけ歯科医に関する相談・歯科医療機関の紹介等及び障害や疾病により一般歯科診療所の受診が困難な区民を対象に専門的歯科治療等を提供する。 ○医療関係団体の間での医療連携、地域の歯科医療機関相互の連携に取り組む。事業は（社）東京都杉並区歯科医師会に委託して実施している。				○障害や疾病により一般歯科診療所の受診が困難な区民に安心して歯科診療を受けられる場と身近にかかりつけ歯科医を持ち気軽に相談できる環境をつくる。 ○高次歯科医療機関、専門歯科医療機関や医科診療機関との連携により、安全で適切な歯科治療の場を確保する。						
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標						
(1) 延べ診療件数(年間)				(1) かかりつけ歯科医を持つ区民の割合							
(2) 相談総数(年間)				(2) (代)延べ診療件数の前年比							
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値 19年度	目標値に対する16年度の達成率%		
					計画	実績					
指標	活動指標(1)		件	2,918	3,279	3,400	3,340	3,400	3,500	95.4	
	活動指標(2)		件	48	105	100	98	100	110	89.1	
	成果指標(1)		%	59.8	61.0	63.0	65.6	67.0	68.0	96.5	
	成果指標(2)		%	99.1	113.1	105.0	101.9	105.0	105.0	97.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円	72,773	70,645	77,541	73,687	77,273	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 組織改正により担当係(救急医療係)新設。		
	(内)委託費		千円	70,292	70,645	77,331	73,475	77,158			
	職員数(常勤   非常勤)		人	1.30	1.42	1.38	1.28	1.38			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	11,808	12,771	12,558	11,648	12,558			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0	0			
	総事業費 + +		千円	84,581	83,416	90,099	85,335	89,831			
	単位あたりコスト ÷		円	28,986	25,439	26,500	25,549	26,421			
	財源	受益者負担分		千円	16,621	19,043	20,000	22,145			21,000
		国・都等からの支出金		千円							
		特定財源計 +		千円	16,621	19,043	20,000	22,145			21,000
差引:一般財源 -		千円	67,960	64,373	70,099	63,190	68,831				
受益者負担比率 ÷		%	19.7	22.8	22.2	26.0	23.4				
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	98.2	活動指標(2)の16年度達成率%	98.0	16年度予算執行率%	95.0			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			○予算には反映しないが、当初計画に従い、歯科医師会と協議・調整し、老人保健施設等施設入所者への訪問歯科診療の実施体制を整備した。これにより、現行の保健福祉計画(平成15年度～19年度)にあげる在宅要介護者、入院患者、施設入所者への訪問歯科診療の供給体制が整った。 ○摂食嚥下機能訓練のための、人材育成研修は17年度で終了する。								

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	平成13年度歯科保健医療センター開設時から現在まで区内の在宅要介護者や障害者の数に大きな変化はない。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	区北西部に位置することから、障害を持つ通院患者にとって通院が困難な場合があり、利用者および区歯科医師会から『患者搬送体制の整備』や『施設移転』についての希望がある。
	今後の予測	○かかりつけ歯科医の定着に従い、紹介希望は、数の増減を伴いながらも長期的には減っていくことが予想される。 ○反面、医療機関のより細かな情報提供が望まれたり、相談内容の専門化、詳細化が予想される。 ○この他、国公立病院や大学病院などの高次歯科医療機関から地域の歯科医療機関へのいわゆる逆紹介などの対応が望まれることが予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 歯科医療の連携を図ることにより、相談内容にあわせた歯科医療機関の紹介や治療の安全性をより高くすることができる。また、障害などの理由から歯科診療を断念していた患者に対して、安全に歯科治療を受ける機会を確保している。区内一般歯科診療所での対応が難しい患者を受け入れて、専門歯科医療機関の役割を果たし地域歯科医療の向上に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか ある程度できる( ) 成果向上のための方策 手段・方法の変更(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 在宅、入院、施設入所での訪問歯科診療の実施体制整備を受け16年度後半から周知活動を強化している。周知が進むに従い、歯科医療連携室の利用者増が期待できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 健康保険法等法令に従い、診療費の自己負担を患者に求めている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [手段・方法の変更] (具体的内容 )	理由または具体的内容: 障害者歯科診療の実施体制を抜本から見直し、人員配置を再考することでコスト削減の可能性はある。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 歯科保健医療センター運営は社団法人 東京都杉並区歯科医師会にすべて委託している。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み: 事業の性格上、区歯科医師会との協働を継続していく。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうするかたち)    事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ○当初計画にあげた、訪問歯科診療体制の整備が整ったこと、かかりつけ歯科医紹介のための情報の更新が行えた事から、今後は、事業の周知活動を積極的に進める。 ○障害者へのかかりつけ歯科医定着推進のため「(仮称)障害者のためのかかりつけ歯科医マップ」(5,000部予定)を作成する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 歯科医師会を中心に、医師会、薬剤師会、障害者団体及び企画、財政部門等の庁内関係部署との協議・調整を継続する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	摂食嚥下機能訓練のための、人材育成研修は17年度で終了し1,200,000円程度の予算減額になるが、「(仮称)障害者のためのかかりつけ歯科医マップ」の作成を予定していることから予算増となる。

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		急病医療情報センターの運営				整理番号	455		枝番号	1		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード			連絡先電話番号	4524		昨年度整理番号	465	
係名				救急医療係				上位施策名		No		
予算事業名				救命救急体制の構築				コード	45900		地域医療体制の整備	
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成		16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等						
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 杉並区救急医療連絡協議会設置要綱 (2) 杉並区急病医療情報センター運営要綱 (3)						
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)							
	24時間365日の医療相談・医療機関案内 専用回線による区内二次医療機関の連携 救急医療の専門家等による杉並区独自の救急医療体制の検討を行い、必要な施策を企画する。				区民が急病などの緊急時に、24時間365日いつでも相談や案内を受けられる安心を提供する。 子育てが安心して出来るよう、特に小児の急病対応に重点を置く。							
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標							
(1) 情報センター利用者数				(1) 救急医療に安心感を持つ区民の割合								
(2) 情報センターへの小児に関する問い合わせ件数				(2) (代)救急医療に安心感を持つ30代女性区民の割合								
区分	単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%				
				計画	実績							
指標	活動指標(1)		人			1,268	10,000					
	活動指標(2)		人			560	4,500					
	成果指標(1)		%		42	50	55	60	83.0			
	成果指標(2)		%		37	42	45	50	83.0			
総事業費・コスト把握	事業費		千円	0	0	16,013	47,800	<b>特記事項</b> <small>(指標、事業費等の変化の理由など)</small> 組織改正により担当係(救急医療係)新設。 H17年度に評価表新規作成				
	(内)委託費		千円			16,013	47,800					
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.60	0.66					
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)		千円	0	0	5,460				6,006	
		非常勤職員分		千円	0	0	0				0	
	総事業費 ++		千円	0	0	21,473	53,806					
	単位あたりコスト ÷		円			16,935	5,381					
	財源	受益者負担分		千円								
		国・都等からの支出金		千円								
		特定財源計 +		千円	0	0	0				0	
差引:一般財源 -		千円	0	0	21,473	53,806						
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0						
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%						
		平成17年1月24日より事業開始。										
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		平成17年1月24日より事業開始。										

## 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	杉並区救急医療連絡協議会提言に基づき事業を開始した。 平成17年1月24日から事業開始。 電話相談業務専門業者であるダイヤル・サービス(株)に事業委託をした。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	医療機関案内に対して適切な情報提供がなされていない。
	今後の予測	解説以来、確実に相談件数は増加しており、今後ますます入電数が増加すると見込まれる。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 区民の医療に関する安心感の向上に貢献している。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( ^ ) 成果向上のための方策 対象の拡大(具体的内容 )	理由または具体的内容: 理由または具体的内容: 広報の活用、チラシの配布など事業のPRを進め、区民への徹底した周知を計る。 正確な情報提供により区民の信頼による利用の広がりを計る。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: いつでも気軽に利用できるテレホンサービスにつき、通話料以外は無料であることに意義がある。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 今後、利用者数の増が見込まれる中、委託費の減は難しい。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( ^ ) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由: 理由または具体的内容: ダイヤル・サービス(株)に全面委託している。
	(6) 協働等の相手 企業・個人事業者( ^ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 委託業者に対し、正確な医療情報提供に区が関与する。

今後の事業のあり方(中長期)	<b>成果:</b> <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減 <b>コスト:</b> <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 区民から信頼される「苦情ゼロ」の急病医療情報センターを構築する。
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 区民の信頼を損なう誤った情報提供を回避するため、二次救急指定病院との連携によるデータベースの整備を進めるとともに、オペレーターの研修など、委託業者に対し指導をする。
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性 <input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由 区民への周知が徹底され入電数が増加することにより、回線の増設が必要となる。 回線の増設に伴い対応するオペレーターの増員も必要となる。



# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		小児急病対応の充実				整理番号	455	枝番号	2	
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード	150104	連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	465	
係名				救急医療係		上位施策名			No	
予算事業名				救命救急体制の構築		地域医療体制の整備			39	
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 16年度		<input type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 ○ 平日夜間(23時まで)に急病により診療を必要とする小児 ○ 就学までの小児の保護者		(1) 小児急病診療体制の確保に関する協定書 (2) (3)				
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	○ 平日夜間(月～金曜日の23時まで)の小児急病患者に救急診療(初期及び2次)を東京衛生病院に委託し実施する。(平成16年10月事業開始) ○ 就学前の小児の保護者に急病対応の冊子を配布する。 ○ 小児急病に関する講演会を開催する。(各保健センターで実施)				○ 夜間の小児急病に対し安心して受診できる医療体制を整備する。 ○ 冊子配布と講演会を通じ保護者が小児急病に適切な対応ができるよう啓発を図る。					
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 延べ受診者数				(1) 延べ入院患者数						
(2) 延べ診療日数				(2) 救急医療に安心感を持つ区民の割合						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		人			1,042	2,300	2,500	41.7	
	活動指標(2)		日			118	240	365	32.3	
	成果指標(1)		人			91	200	250	36.4	
	成果指標(2)		%			42.4	45.0	50.0	84.8	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			6,188	12,933	<b>特記事項</b> (指標、事業費等の変化の理由など) 活動指標および成果指標(1)は事業開始の16年10月以後の数。 組織改正により担当係(救急医療係)新設。 H17年度評価表新規作成		
	(内)委託費		千円			3,840	11,665			
	職員数(常勤 非常勤)		人			0.30	0.29			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	2,730	2,639			
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			
	総事業費 ++		千円	0	0	8,918	15,572			
	単位あたりコスト ÷		円			8,559	6,770			
	財源	受益者負担分		千円						
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	8,918	15,572				
受益者負担比率 ÷		%			0.0	0.0				
16年度予算執行状況(節減努力・未達理由等)		活動指標(1)の16年度達成率%		活動指標(2)の16年度達成率%		16年度予算執行率%		年度途中からの計画と実施であり、必要予算は区民健康診査など保健所内の他の事業費を調整し捻出した。計画どおりの執行である。		
前年度の改革案の取り組み状況(17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)		17年度、診療日を平日のみから土、日曜日まで拡大する検討を行う。								

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	○事業開始は平成16年度からで、事業を取り巻く環境の変化はない。 16歳未満の区民52,402人(平成17年1月4日現在)
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	○小児急病救急医療体制整備に対する区民の期待は大きい。
	今後の予測	○事業周知が進むことや急病医療情報センターからの情報提供で病院利用者の増加が推測される。 ○365日、24時間の対応の区民要望が予想される。 ○現在は1病院であるが複数の医療機関での事業実施を望む声が予想される。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 平日の23時までに限られているが、初期から入院対応までの急病医療体制を整えたことで区民の安心に応え、施策に大きく貢献している。また、急病対応の普及啓発により不用意な救急車の出動要請などを抑制できる可能性もある。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 事業周知の強化により利用者増が期待できる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ない(理由 )	理由または具体的内容: 健康保険法等、法令に従い、診療費の自己負担を患者に求めている。また、健康保険証を有していない患者については病院規定にしたがった患者負担を求めている。
	(4) コストを下げる余地はあるか ない(理由 )	理由または具体的内容: 不足している小児科医を確保するための経費であり削減は困難である。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ ) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( へ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 急病診療は東京衛生病院に事業委託している。
	(6) 協働等の相手 社団法人・財団法人等公益団体( へ ) 協働等の形態 委託 [業務量の50%以上に相当] (具体的内容 )	協働等: <input checked="" type="radio"/> 実施継続 <input type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 協働の形態は従来どおり診療は医療機関に委託する。ただし、他の医療機関への委託などの検討の余地がある。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 ○16年、17年の集中配布で、18年4月就学までの小児の保護者(15年度に生まれた児を除く)に冊子の配布が完了した。18年以降は4ヶ月児健診、母親学級で当該年度に誕生した児の保護者へ配布していく。また15年度に生まれた児については18年度の3歳児健診で配布する。 ○23時までの診療体制を土、日曜日まで拡大するための検討を行う。 ○講演会の見直し検討を行う。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 ○医師会や区内の他の病院・医療機関との連絡・調整を通じ円滑な関係を維持する。 ○今後の検討にあたっては、区内の病院や順天堂大学医学部附属練馬病院(17年7月開院予定)など区周辺域の病院の計画や動向を十分に考慮する必要がある。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	○土、日曜日への拡大を平年化するため増となる

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

評価対象事務事業名		初期救急対応力の向上			整理番号	455	枝番号	3		
担当部課名		杉並保健所健康推進課		コード		連絡先電話番号	4524	昨年度整理番号	465	
係名				救急医療係		上位施策名		No		
予算事業名				救命救急体制の構築		地域医療体制の整備		39		
事業開始年度				○ 昭和 ● 平成 16 年度		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画事業 <input type="checkbox"/> 行革計画事業 <input type="checkbox"/> 協働計画事業				
事業の種類				<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 一部新規 <input type="checkbox"/> 臨時・単年度 <input type="checkbox"/> 内部管理		根拠法令等				
対象				<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他		(1) 地域における初期救急対応力の整備要綱 (2) (3)				
事務事業の概要	活動内容 (事務事業の内容、やり方、手順)				事業の目標 (対象をどのような状態にしたいのか)					
	AEDの設置・操作講習会の実施 区民救命講習実施(普通救命250名・区独自養成120名) 職員救命講習実施(普通200名・上級30名・普及員6名) まちかど救急隊・区民レスキュー支援				AED設置施設職員全員の操作講習会受講を進め、緊急時に備え、確実なAEDの使用を行い、救命率が高まる。 区民が自信を持って心肺停止者への的確な対応ができる。 職員が区民の一人として救急対応能力の向上を自覚する。 まちかど救急隊20隊結成。					
	活動指標名(式)				成果指標名(式) (代) = 適当な指標がない場合の代替指標					
(1) 区民レスキュー登録者数				(1) 研修・訓練会参加者数(延べ数)						
(2) まちかど救急隊(震災急援助隊を含む)登録数				(2) まちかど救急隊整備割合(登録隊数÷67)						
区分		単位	14年度実績	15年度実績	16年度		17年度計画	目標値19年度	目標値に対する16年度の達成率%	
					計画	実績				
指標	活動指標(1)		人		200	238	600	1,100	21.6	
	活動指標(2)		人		10	4	20	67	6.0	
	成果指標(1)		人		0	0	200	300	0.0	
	成果指標(2)		%		0	0	30	100	0.0	
総事業費・コスト把握	事業費		千円			831	22,300	特記事項 (指標、事業費等の変化の理由など) 組織改正により担当係(救急医療係)新設。 H17年度に評価表新規作成		
	(内)委託費		千円			0	0			
	職員数(常勤   非常勤)		人			1.10	1.79			
	人件費	常勤職員分(超勤分含む)	千円	0	0	0	10,010			16,289
		非常勤職員分	千円	0	0	0	0			0
	総事業費 + +		千円	0	0	0	10,841			38,589
	単位あたりコスト ÷		円			0	45,550			64,315
	財源	受益者負担分		千円						125
		国・都等からの支出金		千円						
		特定財源計 +		千円	0	0	0			0
差引:一般財源 -		千円	0	0	0	10,841	38,464			
受益者負担比率 ÷		%				0.0	0.3			
16年度予算執行状況 (節減努力・未達理由等)			活動指標(1)の16年度達成率%	119.0	活動指標(2)の16年度達成率%	40.0	16年度予算執行率%			
前年度の改革案の取り組み状況 (17年度予算を削減または増額している場合、関連する新規事業がある場合にはその概要も明記)			区民レスキュー及びまちかど救急隊の養成者数を増やし、活動を支援する。養成研修費増。救急セット増。							

# 平成17年度 杉並区事務事業評価表

事業環境の変化	事業開始当初から現在までの変化	H17.7から一般市民のAEDの使用が可能となった。
	事業に対する住民の意見(事業に対する期待・要望・苦情など)	普通救命は開始当初から、毎回、定員を越える申し込みがある。回数増の要望がある。登録だけでは意味がない。何か活動の場を提供して欲しい。AEDを貸与して欲しい。
	今後の予測	震災救援所67所に所属し、救護班の補助要員や各救援所の救護班、災害弱者支援担当などを割り当て、地域ごとに自主的に組織化を図ることが必要である。
事業のあり方点検	(1) 施策への貢献度は大きいか 貢献度 大(理由 )	理由: 安全・安心の街づくりに多大な貢献をする。
	(2) 現在の事業費で成果を向上させることができるか できる( へ ) 成果向上のための方策 その他(具体的内容 )	理由または具体的内容:  理由または具体的内容: 充実した実技訓練の設定・支援を行い、救命技術の維持・向上を図ることにより、救命率が上がる。
	(3) 受益者負担の見直し余地は ある(具体的内容 )	理由または具体的内容: 普通救命受講料を500円とした。消防署等の講習は1400円である。順次、1400円に近づける。
	(4) コストを下げる余地はあるか ある [補助金方式への切り替え] (具体的内容 )	理由または具体的内容: ベスト、救急セット、訓練資機材などは補助金方式で、区民が一部負担する。
協働等の現状	(5) 協働等は実現しているか 十分に実現している( へ ) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	理由:  理由または具体的内容: 区民レスキュー協議会やまちかど救急隊連絡会など、区民の自主的団体を組織化し、自主的に救命技能の訓練会や情報交換を積極的に行う。 普通救命講習補助金(受付など事務要員) 普及員受講補助金(地域の救命技能の指導者養成) ベスト・無線機・救急セットなどの活動資器材の購入費を一部補助する。
	協働等のあるべき姿 (6) 協働等の相手 NPO・ボランティア・市民活動団体( へ ) 協働等の形態 協働[補助・助成](具体的内容 )	協働等: <input type="radio"/> 実施継続 <input checked="" type="radio"/> 推進 <input type="radio"/> 行政直轄 今後の具体的な取り組み 区民との話し合いを持ち、区の考えを伝え、意見交換を行い、区民の考えを取り入れた、将来構想を再構築する。

今後の事業のあり方(中長期)	成果: <input checked="" type="radio"/> 増 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減	コスト: <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 減
	(1) 改革案の概要(いつまでに、どうかたちに) 事業のあり方点検欄を踏まえて記入 AEDの新規購入は民間団体や企業の協賛を得て増設する。...広告型AEDの寄付を平成18年度までに軌道に乗せる。区民の手による区民自らの救命を行うグループ、個人を組織化する。...平成19年度までに必ず区民レスキューは震災救援所67箇所に所属する。67箇所まちかど救急隊を組織する。	
	(2) 改革案を実施するにあたっての阻害要因と克服方法 関係課との調整 区民の中からリーダー的存在を発掘する。	
18年度方針	(1) 18年度予算見積の方向性	<input type="radio"/> 大幅増 <input type="radio"/> 増 <input checked="" type="radio"/> 増減なし <input type="radio"/> 減 <input type="radio"/> 大幅減 <input type="radio"/> 予算なし
	(2) 理由	支援の拡充が必要だが、区民の自己負担や自主的運営に委ね、結果的に予算は変化なしという状況を見込んでいる。